

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 728

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	大西 敏之
事業名	資料購入費			事業分類	ソフト事業
細事業名	資料購入費			政策体系	131
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 3.図書		

1. 事業の概要

公共図書館としての存在意義・役割を果たせるよう、資料の購入・収集に努める。
市内の4施設において利用者からの要望を反映し、また各施設での蔵書構成を考慮しつつ、分担収集しながら効率的な資料の収集に努めると共に、学校図書館への支援を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

図書館法に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保有して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的に資料を購入し、また、市民のリクエスト及び保・幼・小・中学校への支援を十分に考慮して、資料購入を行っている。

②事業を実施する必要性

公共図書館のとしての責務を果たすため。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	14,075	13,916	9,622	7,086	4,883	9,678	9,678
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	14,075	13,916	9,622	7,086	4,883	9,678
職員等の従事人員	人/年	—	—	1.05	6.05			
人件費	千円	—	—	2,926	13,487			
事業費総額	千円	—	—	12,548	20,573			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

雑誌・新聞等購入費	1,742,000円
ソフトウェア使用料	579,600円
書籍購入費	4,499,971円

5. 事業結果の概要

図書蔵書冊数(21年度末)	188,789冊
・中央(園部)図書館	72,704冊
・八木図書室	36,386冊
・日吉図書室	52,682冊
・美山図書室	27,017冊
図書利用者数及び貸出冊数	56,586人 174,799冊
・中央(園部)図書館	25,512人 81,898冊
・八木図書室	12,241人 33,190冊
・日吉図書室	12,682人 40,921冊
・美山図書室	6,196人 18,790冊

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 全館		
<p>●選書会議の開催・主に文部科学省の外郭団体が発行する「週刊全点案内」をベースとして選書会議を毎週開催し、原則として予算の週割りでの上限内で起案後、発注をおこなっている。予算の関係上、常に資源共有を念頭に置き、ベストセラーを除いては可能な限り同じ資料を購入することのないよう十分に配慮して選書購入を行っている。また、利用者からのリクエスト本は、新刊に限り購入対象とし、資料内容・各館室の蔵書構成に配慮して購入している。</p>	<p>選書会議を原則 毎週金曜日に開催</p>	<p>21年度蔵書数 188,789点 21年度利用者数 56,586人</p>

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

4施設に予算の範囲内で効率よく書籍を配備する必要がある。
地域のニーズに応じた資料の購入や府立図書館ネットワークの活用。
限られた予算内での書籍購入を。どう計画的に行っていくのかを検討する必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
4施設に予算の範囲内で効率よく書籍を配備する。
- ②当該事業のアピール事項
地域のニーズに応じた資料の購入や府立図書館ネットワークの活用。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
限られた予算内での書籍購入を。どう計画的に行っていくのかを検討する必要がある。